

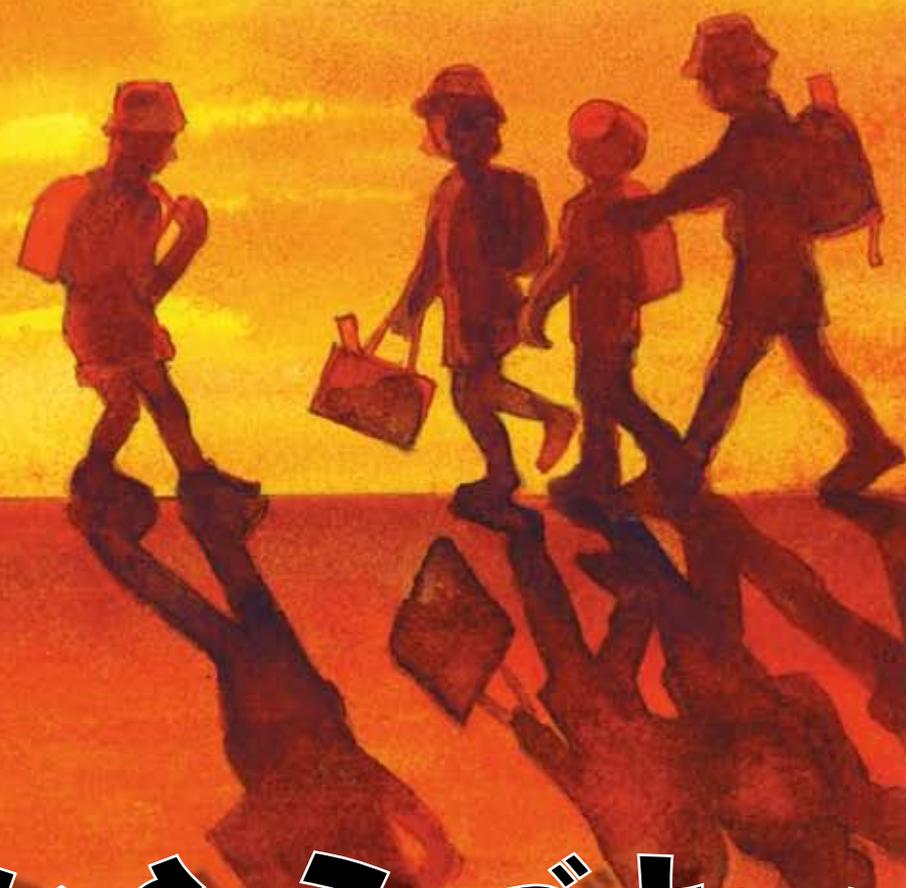
友達っていいよね

きみがいて くれてうれしい

友達は、遊ぶ仲間なんだと思っていたけれど
 落ちこむわたしをきみがはげましてくれたとき
 胸がぐっと熱くなった。
 そうなんだ、これが友達なんだって
 はじめて気づいた
 あの帰り道。

ああ、友達っていい。

はなれてたって
 きっとわたしのことを考えてくれている。
 そう思うからこそ
 たがいにはげまし合って
 生きていける。



あなたがいて 心づよい

👉 わたしにとって友達とは？

いろいろな友達 いろいろな考え



友達は
自分にはないものをもっている。
わたしたちは友達から
いろいろなことを学ぶことができる。
だからこそ
友達は一生のたからもの。



そんな大切な友達だけ
考えていること感じていることはそれぞれちがう。
受け入れることができないと関係がうまくいかなくなったりしてしまう。
心がちょっとせまくなると
たがいに気まずくなってしまうたり。



でも、そのときは
自分をきたえる絶好のチャンス。
にげずに、向き合うこと。
そして相手の立場に立って考えてみること。
そのことで、逆にたがいの理解が深まる。

いろいろな友達と、さまざまに心をかよわせ合おう。

📝 友達から学んだことを書いておこう。

女子

たがいに意識しちゃよね

男子

あなたたちは思春期という、青春の入り口に立っている。男女がたがいに意識してしまうのは、あたりまえ。でも、いっしょにいるのだから、たがいに理解し合って支え合ってはどうかろう。そして、よい関係をきずいていこう。



紗代さんの思ったこと

わたしは、男子がいてよかったなあ、と思うことが三つあります。
ひとつめは、あいさつのことです。男子はほとんどの人が先生や友達にあいさつをします。わたしはなかなか大きな声が出せなかったのですが、男子といっしょにいるとき、だれかに会うことがあると、ふつうにだれにでもあいさつできるようになりました。

ふたつめは、話を聞いてくれることです。テストの結果があまりよくなって、わたしが落ちこんでいたとき、仲のよい(?)男子にそのことを話したら、

「そんなの、次がんばればいいじゃない。」
と笑い飛ばしてしまいました。でも、そういうふうに軽く言ってくれたことで、なんだか、

「それもそうだなあ。落ちこんでも仕方がないな。次がんばっていい点がとれるようにしよう。」
という気持ちになれました。

三つめは、女子の友達関係のことで、みんなで話したときのことで。男子もまじめに考えてくれて、

「女子も男子も同じように、いっしょに外で元気に遊べば、心のきよりが近くなっていくよ。」
と言ってくれました。わたしは「なるほどなあ。」と思いました。

ときには、言い争いになったり、けんかをしたりしてしまうこともあるけれど、男子といっしょに楽しく学校生活を送りたいと思います。

👉 男子と女子の友情について思うこと考えること